

# 熊本県介護支援専門員協会 阿蘇支部南部地区 研修会

日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）14：00～16：00

場所：南阿蘇村白水保健センター

## 1. くまもと悠心病院の紹介

くまもと悠心病院 地域連携室室長 杉本 篤史

## 2. 認知症の精神・行動障害について

くまもと悠心病院 院長 宮内 大介

## 3. 質疑応答、意見交換会

## 4. アンケート記入

平成 29 年度 第 2 回阿蘇地域 BPSD センター研修会（南阿蘇） 会議録

日時：平成 29 年 11 月 28 日（火） 14 時 00 分～16 時 00 分

場所：南阿蘇村白水保健センター（旧白水庁舎）

出席者：介護支援専門員（阿蘇支部南部地区） 19 名

浅尾氏、渡邊氏、荒牧氏、岩代氏、田中氏、桐原氏、田中氏、坂本氏、白石氏、  
田尻氏、矢津田氏、岡氏、高木氏、長野氏、今村氏、林氏、下田氏、笠氏、  
栗屋氏

くまもと悠心病院 3 名

宮内院長、杉本、大塚

BPSD コールセンター 1 名

松岡氏

合計 23 名

議事：

1. 開会挨拶

2. BPSD センターの紹介、くまもと悠心病院の紹介

くまもと悠心病院 地域連携室室長 杉本篤史

3. 講演『認知症の精神・行動障害について』

くまもと悠心病院 院長 宮内大介

※資料に基づき、認知症の症状について説明、三大認知症のそれぞれの特徴、治療（薬物療法、薬物以外の治療法、適切なケア及び管理の大切さ、BPSD（主に徘徊）の対応等について講演を行った。

4. 質疑応答、意見交換

※BPSD コールセンター松岡氏より機関の紹介。地域の認知症における支援体制を構築するため現場のスタッフの方々の意見は県及び BPSD センター（阿蘇圏域担当は当院）へ相談を、と説明。

5. アンケート

●ご質問、ご意見等

- ・精神科病院を受診する際は、主治医の紹介状が必要か。  
→かかりつけ医に相談してから来ていただいた方が良いが、早期対応が必要な場合など、かかりつけ医に相談できないときはそれでも良い。かかりつけ医から専門医受診を勧めた方が本人が行く気になることは多い。また、どこにも通院していない方は紹介状は必要ない。
- ・内科のかかりつけ医より認知症の薬が出ているが、専門医を受診させたい。しかし、かかりつけ医からは「ここで処方しているから行く必要はない」と言われてしまう。どうしたらよいか。  
→生活上問題なく、うまくいっているなら現時点ではそのままで良いと思う。
- ・以前、夫に対する嫉妬妄想で通院していた高齢女性がいた。夫は数年前に他界しているが、現在も嫉妬妄想がなくなり、肯定した方が良いのか、否定して良いのか、対応に迷っている。また、嫉妬妄想は、認知症の分類でいうと何になるのか。  
→「心配しなくていい」と言うしかないが、対応は難しい。ひどい場合は、薬を使うことになる。嫉妬妄想は、アルツハイマー型認知症かレビー小体型認知症の方に多い。特にレビー小体型認知症の方は、夫や妻が異性と一緒にいる幻視が実際に見える場合がある。

●アンケートより（今後研修会で聞きたい内容など）

- ・認知症の症状について
- ・認知症の方への対応（声かけなど）について
- ・帰宅願望や家族への連絡依頼時の対応等
- ・事例を元にしたケアプランに活かせる対応策について
- ・発達障害、知的障害などの方が大人から老人になられたときの対応
- ・主治医、専門医との連携について
- ・家族の理解、医療機関との連携がかみ合わないことがあり、受診までに時間がかかる
- ・薬を増やすと歩行障害、減らすと帰宅願望が強くなり外へ出てしまう入所者がいる。薬と症状のバランスが難しい。

